

vol. 35

熊本

地域リハビリテーション 広域支援センターNEWS

- 目次 -

1 第35号発行に添えて ~ご挨拶~

2~3 密着リハ紹介 武蔵ヶ丘病院

4 研修会報告① 福祉用具研修会

5~6 研修会報告② 認知症予防

編集後記

- 略称・地域リハニュース -

発行日：2022年8月

発行元：熊本地域リハビリテーション広域支援センター熊本機能病院

お問い合わせ：熊本機能病院内

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1

TEL：096-341-0511 FAX：096-341-0512 Email：kc-chiikireha@juryo.or.jp

担当：東利雄（理学療法課 課長補佐）

第35号発行に添えて

~ご挨拶~

こんにちは。令和4年、盛夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、新型コロナウイルスが国内で確認されたのは、2020年1月でした。あれから2年半余り、随分と長い期間が過ぎたように感じます。現在、第7波と呼ばれる大きな流行の波が日本を襲っています。流行しているオミクロン株は、重症化する確率は低いとされていますが、連日報道されている通り、発症者の内一定数の中・重症者が発生し、熊本市のコロナ病床利用率は95%に迫る勢いです。救急車を呼んでも簡単に入院先が決まらず、自宅での療養を余儀なくされるようなことも現実に起こっています。

その一方で、今年の熊本の梅雨は短く、水不足の心配が少ない熊本にとっては幸いの事でした。しかし、その後は毎日35度を超える酷暑の夏となりました。地域で生活される皆様の熱中症が気になるところです。呼吸による体熱の発散がマスク着用で阻害されること、報道等でも使用に関して、TPO（時間・場所・場合）に応じて、使い分けることを推奨しています。コロナと熱中症、その両方に十分な注意をお願いいたします。

また、今年には戦後77年目の夏、8月6日、8月9日は広島、長崎それぞれの原爆記念日でした。日本で平和の祈りをささげている一方で、ロシアが原子爆弾の使用を示唆しながらウクライナへの侵攻を進めていること、大変心痛く思っています。地域には若い頃、戦争を経験されたお方もおられることと思います。是非、若い世代、子どもたちにご経験を交えて平和の大切さを伝えて頂きたいと思えます。

これらの課題への取り組みを通して、こどもから高齢者までのつながりが深く、皆がいきいきと生活できる地域社会となるよう願っております。今後も地域リハビリテーション広域支援センターとして、微力ながら尽力して参りますので、ご協力とご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします

2022年8月26日

熊本地域リハビリテーション広域支援センター熊本機能病院
センター長 渡邊進